



平成17年2月2日、三木市・吉川町の「合併協定調印式」が教育センターで行われました。写真左から、故 加古房夫元三木市長、井戸敏三兵庫県知事、岩波勉元吉川町長



兵庫県下では50年ぶりの開催となった、「のじぎく兵庫国体」。ソフトテニスやサッカー、馬術の熱戦が繰り広げられました。吉川では選手と民泊を通じた交流がはかられました。



平成26年10月25日、市制施行60周年を記念して、豪華絢爛な祭り屋台28基が三木山総合公園に大集合。三木の人々が持つ元気と心意気を全国へ発信しました。



合併により、市内ゴルフ場数が西日本一の25か所となった三木市。平成28年7月22、23日にはツアー大会への登竜門となる「第1回 三木市レディースゴルフトーナメント」が開催されました。



H22 (2010)



平成22年2月20日に「旧玉置家住宅」がオープン、同年5月5日には、「旧小河家別邸」の一般公開が開始されました。

H21 (2009)

平成21年11月29日、文化活動や交流の拠点として「吉川図書館」がオープン、併設の「吉川支所」も同日に開設されました。

H18 (2006)

H17 (2005)

特集 三木市・吉川町合併15周年記念

合併15年のあゆみ

平成17年10月24日、三木市と吉川町が合併し、現在の三木市が誕生しました。ここでは、写真とともにこの15年を振り返ります。

(市) 秘書広報課

合併15周年を迎えて

平成17年10月24日、三木市と吉川町の合併により、新しい「三木市」が誕生し、このたび、記念すべき15周年を迎えることができました。市民の皆さまをはじめ、関係各位の並々ならぬお力添えに対しまして、心より敬意と感謝を申し上げます。

平成の大合併は、地方分権社会の到来により、地方自治体が行財政の効率化を図りながら、自らの責任と判断でまちづくりを行うために推進されたものでした。

この時期と前後して、人口減少や少子高齢化が社会構造に大きな変化をもたらしました。合併により大きくなった自治体には、住民ニーズの把握のため、より積極的に住民の声を聴く姿勢が求められるようになったと存じます。

平成29年7月、私が三木市長となって、まず着手したのは、「風通しの良い市役所」を創ること。各地区区長協議会などと市幹部との市政懇談会を復活させたほか、職員との意見交換会や職員提案の場を設けました。

もう一つ、私が大切にしていることがあります。それは、市民の皆さまと一緒にふるさと三木に誇りと愛着を持ちながら、一体となってまちづくりを進めることです。

三木市と吉川町の合併により、個々の地域資源が結びつき、それらがまちの魅力を支えに高めていきます。

20年、30年後も子どもたちの笑顔が溢れ、皆さまにとっての「誇りを持って暮らせるまち三木」の実現に向け、引き続き全力で取り組んでいくことを、ここにお誓い申し上げます。

三木市長 仲田一彦



平成30年6月3日、成人となる大学生に日本酒の酒米づくりから醸造、商品化までを体験してもらう「二十歳の山田錦物語プロジェクト」がスタートしました。



平成28年7月1日、旧グリーンピア三木に、ホテルや各種レジャー施設を備えた大型複合リゾート施設「ネスタリゾート神戸」がオープンしました。



令和2年4月1日、「全国高等学校・中学校ゴルフ選手権春季大会」の市内開催が決定しました。この大会を恒久的に開催し、ジュニアゴルフの聖地化をめざします。

